

厚生労働科学研究費補助金（創薬基盤推進研究事業）  
（分担）研究報告書

創薬・疾患研究のためのヒト組織・不死化B細胞の資源化に関する検討、及び  
ヒト由来試料に関する情報データベースの構築

研究代表者：小原 有弘	独立行政法人医薬基盤研究所	培養資源研究室	主任研究員
研究分担者：高橋 一朗	独立行政法人医薬基盤研究所	難病資源研究室	主任研究員
：坂手 龍一	独立行政法人医薬基盤研究所	難病資源研究室	研究員
：吉田 東歩	独立行政法人医薬基盤研究所	泉南資源研究施設	研究調整専門員
：佐藤 元信	独立行政法人医薬基盤研究所	泉南資源研究施設	研究調整専門員
：小阪 拓男	独立行政法人医薬基盤研究所	泉南資源研究施設	研究調整専門員

**研究要旨**

創薬・疾患研究に必要な細胞・組織資源の充実化を行うために、H S 研究資源バンクから医薬基盤研究所へ移管されたヒト組織バンク及び日本人由来B細胞株・DNAバンクのヒト組織及び不死化B細胞について、体制の整備と新たな資源化に関する検討を行った。これらのバンクを含む医薬基盤研究所の生物資源バンクについて、JCRB 生物資源バンク (<http://bioresource.nibio.go.jp>) としてポータルサイトを構築し、ヒト由来の細胞、組織、不死化B細胞・DNA、遺伝子、そして実験動物について、利用者がOne Stopで情報を入手できる環境を構築した。さらに、研究所内外の他データベースとの情報連携により、国内有数の生物資源を創薬・疾患研究へ活用するプラットフォームの構築を図った。

**A . 研究目的**

独立行政法人医薬基盤研究所（基盤研）が、1980年代から維持・管理してきた、創薬・疾患研究に有用な細胞・組織コレクションの資源の充実化、分譲体制の確立を一層進めることを目的とする。2013年4月1日付で、財団法人ヒューマンサイエンス振興財団研究資源バンク（H S 研究資源バンク）が基盤研へ移管され、ヒト由来試料の生体資源バンクの統合化のための体制整備と資源活用方針の検討が必要となった。そこで、H S 研究資源バンクから基盤研難病資源研究室へ移管されたヒト組織バンク及び日本人由来B細胞株・DNAバンクに関して、運用を滞りなく継続実施可能にするとともに、今後に向けた資源化に関する検討を行う。また、これらのバンクを加えた基盤研難病・疾患資源研究部の生物資源バンクについて、創薬・疾患研究を行う分譲希望者がヒト由来試料の入手に際し、One Stopで情報を入手できる環境を目指して、情報データベースの構築を進める。

**B . 研究方法**

- 1 . H S 研究資源バンクから移管された、ヒト組織バンク及び日本人由来B細胞株・DNAバンクについて、提供元機関（医療機関）との契約変更（ヒト組織バンク）等の運営体制の整備を行い、分譲を実施可能にする。また、新しいヒト由来試料の追加、細胞調製、品質管理、遺伝子発現解析等を実施し、次年度以降のための新たな資源化に向けた検討を行う。
- 2 . 基盤研難病・疾患資源研究部の生物資源バンクについて、ポータルサイトを構築することで連携を深め、H S 研究資源バンクから移管されたバンクを含めて、分譲希望者から見て統合的な利用環境に向けた情報データベースの構築を進める。また、複数の生物資源バンクを横断的に検索可能なシステムへの情報提供を行い、研究所内外のデータベースとの情報連携が可能なデータフォーマット等を検討する。

（倫理面への配慮）

ヒト由来試料（ヒト組織・不死化B細胞）の取扱いは「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫

理指針」に基づいて実施した。分譲は分譲先機関での倫理審査承認を受けて行った。ヒト組織については、提供機関（医療機関）と分譲先機関において倫理審査承認を受けた。ヒト組織は手術等により摘出された、診断等に不要の余剰組織であり、提供者への十分な説明と同意のもと、連結不可能匿名化等の個人情報保護の手続きを厳正に行った。

## C. 研究結果

1. ヒト由来試料を取り扱うための規程類（ヒト組織バンク運営細則、各種様式類）を体制変更に合わせて修正または新規作成し、提供元機関との契約変更（ヒト組織バンク）、倫理審査体制の整備、ホームページ（資料1）とパンフレット（資料2）による情報発信を行った。これにより、ヒト組織バンク約220試料、日本人由来B細胞株・DNAバンク約2,100試料を分譲可能な体制を整備した。本年度の分譲実績は、ヒト組織バンク：21件42試料、日本人由来B細胞株・DNAバンク：20件841試料となった。また、ヒト組織に関して259件、日本人由来B細胞株・DNA（遺伝子クローン事業を含む）に関して69件の各種相談を受け付け、分譲情報、技術情報を提供した。今後の資源化の検討については、以下のとおり実施した。（ヒト組織についての分担研究報告書も参照のこと。）

医療機関Aからの肝組織由来試料の受入れ、医療機関Bからの新鮮組織の受入れについて検討した。

関節リウマチ及び変形性関節症由来の滑膜組織（各2例）より計4試料の滑膜細胞を調製し、品質管理後、Web上で公開した。

滑膜細胞における炎症性反応等に関する遺伝子の発現状態を解析した。

滑膜細胞についてウイルス検査用の試料を随時調製した。

2. 基盤研難病・疾患資源研究部が保有する生物資源バンクのポータルサイトとして、「JCRB 生物資源バンク」のホームページ（Japanese Collection of Research Bioresources, <http://bioresource.nibio.go.jp>）を構築した（資料3）。HS研究資源バンクから移管されたバンクも含めて、利用者から見てどのような生物資源バンクがあるかを一度に把握できるようになった。情報データベース化を進める一環として、各生物資源バンクの分譲可能なヒト

由来試料等について、「医薬基盤研究所データベース横断検索システム」（<http://alldbs.nibio.go.jp>）に登録するための情報抽出・整備・提供を行い、生物資源以外の研究所のデータベースも合わせて、利用者が一括して検索可能とした。これらの情報は"Sagace"（<http://sagace.nibio.go.jp>）とも連携し、所外のデータとの連携も図っている。また、生物資源のデータを高度な検索システムに対応させて創薬・疾患研究への利用に供するため、各生物資源に関連する疾患名・生物種名・遺伝子名・変異情報等についての検索に適したフォーマット（RDF, Resource Description Framework）での取扱い、また、標準化タグ情報の付与（ICD10 疾患名等のマークアップ）に関して調査・検討を行った。

## D. 考察

厚生労働省の研究機関である基盤研は、創薬・疾患研究に特化した、他に類を見ないヒト由来試料等の生物資源を保有している。これら細胞・組織等の生物資源の充実化により創薬・疾患研究の促進を図ることは、難病患者のQOL向上から国民全般の健康増進まで幅広く寄与するものである。しかし、ヒト由来試料の研究利用については、入手可能性、品質、付帯する臨床情報の欠如等、課題がある場合が多い。こうした状況の改善を図りつつヒト組織・不死化B細胞等の資源化を推進することが求められている。また、データベースを活用して様々なオミックス情報を連携させることで、生物資源の付加価値を高めることも重要である。本研究をふまえ、基盤研が保有する他に類を見ない研究資源について資源そのもの及び情報連携等の面からさらなる充実を図り、個別化医療実現のための研究基盤構築に寄与することを目指したい。

## E. 結論

本年度にHS研究資源バンクから移管されたヒト組織バンクと日本人由来B細胞株・DNAバンクの運用体制の整備及び今後の資源化の検討を実施し、これらを含む基盤研の生物資源バンクのポータルサイトとなる、「JCRB生物資源バンク」ホームページを構築し、横断検索システムへの情報連携を図った。これらにより、基盤研が保有するヒト由来試料等の生物資源が創薬・疾患研究に資するための基盤を発展させた。

本分子生物学会年会、神戸国際展示場、2013年12月3-5日

F. 健康危険情報  
なし

G. 研究発表

1. 論文発表

【査読付 学術論文】

- 1) International Glossina Genome Initiative. (Sakate R) "Genome Sequence of the Tsetse Fly (*Glossina morsitans*): Vector of African Trypanosomiasis." *Science* 2014 Vol. 344 no. 6182 pp. 380-386
- 2) Fan Z, Zhao G, Li P, Du L, Yi Y, Batzer MA, Wang H, Sakate R, Osada N, Xing J, Zhang X, Yue B, Li J. "Whole genome sequencing of Tibetan macaque (*Macaca thibetana*) reveals its homozygous genetic background and genetic variation as compared with rhesus macaque and crab-eating macaque." *Mol Evol Biol.* 2014 Apr 2. [Epub ahead of print]

【誌上発表】

- 1) 佐藤元信 「培養細胞の管理～微生物のコンタミネーションを見つける、防ぐ、対処する」  
*実験医学* 32(6): 921-928, 2014
2. 学会発表
  - 1) 坂手龍一 「基盤研データベース横断検索サイトの拡充について」平成25年度 厚生労働科学研究費補助金「創薬支援のためのバイオリソースデータベースのネットワーク整備と政策・倫理課題に関する研究」班会議、アルカディア市ヶ谷、2014年1月22日
  - 2) 高橋一朗、坂手龍一 「難病研究資源バンクの展開」講演 市民・研究者シンポジウム第4回「難病研究と創薬」、千里ライフサイエンスセンター、2013年12月15日
  - 3) 水口賢司、増井徹、坂手龍一、五十嵐芳暢、長尾知生子、森田瑞樹、陳怡安、深川明子、伊藤真和吏 「医薬基盤研究所のデータベース統合と横断検索システム "Sagace"」(特別企画「使ってみようバイオデータベース - つながるデータ、広がる世界」) 第36回日

- 4) 坂手龍一、高橋一朗、古江-楠田美保、松田潤一郎、小原有弘、川原信夫、保富康弘、吉田東歩、増井徹 「厚生労働省：創薬・疾患研究用生物資源 - 薬用植物、医学実験用霊長類、ヒト組織、培養細胞、実験動物、幹細胞、難病資源 -」(特別企画「ナショナルバイオリソースプロジェクト(NBRP)」) 第36回日本分子生物学会年会、神戸国際展示場、2013年12月3-5日
  - 5) 増井徹、高橋一朗、坂手龍一 「難病バンクの現状と将来像」講演 第34回臨床薬理学会学術総会 ランチョンセミナー：稀少疾患の克服に向けて～研究基盤の重要性と課題～、東京国際フォーラム、2013年12月5日
  - 6) Kosaka T, Onishi-Kasamatsu A, Kohara A, Masui T "Human Tissue Bank at the Japanese Collection of Research Bioresources (JCRB) : Availability of Surplus Surgical Tissues for Biomedical Research" ANRRC International Meeting、葉山、2013年11月1日
  - 7) 坂手龍一、深川明子、平田誠、山下智也、山田弘、高橋一朗、増井徹 「創薬・疾患研究をサポートする医薬基盤研究所のデータベース」 トーゴの日シンポジウム2013、時事通信ホール、2013年10月4-5日
  - 8) 倉田真由美、深川明子、坂手龍一、堤正好、増井徹 「個人情報 遺伝情報の取扱について 各指針の比較検討から」 トーゴの日シンポジウム2013、時事通信ホール、2013年10月4-5日
  - 9) 佐藤元信 「JCRB生物資源バンクの新展開」 Biotech 2013、東京ビッグサイト、2013年5月9日
- H. 知的財産権の出願・登録状況  
該当無し

資料1 ホームページ：ヒト組織バンク（左）、日本人由来B細胞株・DNAバンク（右）

### ヒト組織バンク

[ご利用の手引き](#)  
[資源リスト](#)  
[分譲関係様式](#)  
[運営細則](#)  
[ICRB生物資源バンク top](#)

医学・薬学等の分野における研究開発の最終到達目標は、ヒトについて何らかの知見を得ることであり、ヒトの細胞や組織を用いて研究を行うことが必要不可欠となります。

患者への十分な説明と同意のもとに摘出されたヒト組織を、匿名化などの個人情報保護に係る手続きを厳格に行った上で、当ヒト組織バンクに保管します。

ヒトの細胞や組織を用いて生命科学の研究に携わる研究者や医薬品などの研究開発を行う研究者などからの申請に応じ、分譲して行きます。これからの医療のためにご協力をお願いします。

### 日本人由来B細胞株・DNAバンク

[ご利用の手引き](#)  
[分譲サンプルの性状](#)  
[試料一覧](#)  
[分譲依頼書・同意書](#)  
[分譲手数料](#)  
[ICRB生物資源バンク top](#)

#### 日本人由来B細胞株・DNAバンクのご案内

約2,000名の日本人由来のB細胞を不活化した細胞株(\*)と、同細胞株から抽出されたDNAを分譲しています。日本人の遺伝子多型解析などに有用な研究資源です。特に約1,400名の健常人（一般集団）に由来するB細胞株のDNAは、疾病を持つ集団との比較のために貴重なコントロールとして利用されています。

[分譲可能な試料一覧](#)

(\*) 日本人由来B細胞株は、ファルマスニップコンソーシアムとバイオ産業情報化コンソーシアムからバンクに寄託されたものです。

精製DNAについては、50株分あるいは100株分のセット分譲も行っています。

**EBV不活化**

### 資源リスト

[ご利用の手引き](#)  
[資源リスト](#)  
[分譲関係様式](#)  
[運営細則](#)  
[ヒト組織バンク top](#)  
[ICRB生物資源バンク top](#)

ヒト組織バンクで分譲可能な資源のリストです。分譲ご希望の際は、このリストに基づき手引きに従って申請してください。なお、本リストに記載されている試料でも、既に分譲が決定している場合がありますので予めお問い合わせください。

下記リンクより、リストを参照できます。

**A 凍結試料**

- 凍結組織（ブロック） ..... 2010/11/3更新  
[試料リスト](#)
- 口蓋扁桃由来リンパ球およびリンパ組織小片 ..... 2013/3/13更新  
[試料リスト](#)
- 肝細胞 ..... 2011/10/07更新  
[試料リスト](#)（現在譲渡可能な試料はありません。）
- 肝ミクロソームその他  
[試料リスト](#)
- 脂肪前駆細胞（腸間膜・大網由来）  
[試料リスト](#) ..... 2012/09/14更新
- 滑膜細胞  
[試料リスト](#) ..... 2014/02/19更新

**B 固定組織** ..... 2009/8/28更新  
 • [試料リスト](#)

**C 冷蔵（新鮮）組織** ..... 2012/01/07更新  
 • [試料リスト](#)

### 試料一覧

[ご利用の手引き](#)  
[分譲サンプルの性状](#)  
[試料一覧](#)  
[分譲依頼書・同意書](#)  
[分譲手数料](#)  
[ICRB生物資源バンク top](#)

#### 日本人由来B細胞株・DNA

(2014年1月)

下記は現在の分譲可能な凍結細胞および精製DNA数です。変更がある場合はこのページでお知らせいたします。

**PSC細胞株・DNA**

日本人一般集団

年齢	男性	女性	total
20-29	108	135	243
30-39	207	136	343
40-49	132	50	182
50-59	109	37	146
60-69	31	13	44
70-79	4	5	9
不明	0	0	0
<b>total</b>	<b>591</b>	<b>376</b>	<b>967</b>

**JBIC細胞株・DNA**

健常人由来

年齢	男性	女性	total
20-29	49	73	122
30-39	79	44	123
40-49	68	42	110
50-59	35	27	62
60-69	7	9	16
70-79	0	2	2
不明	0	3	3
<b>total</b>	<b>238</b>	<b>200</b>	<b>438</b>

(独) 医薬基盤研究所 JCRB生物資源バンク  
**ヒト組織バンクにご協力ください**

「組織」とはからだを  
 形づくっている「部分」のことです



これからの医療のために…

ヒト組織バンクは厚生労働省所管の  
 独立行政法人医薬基盤研究所によって運営されています

**あなたのご協力が次の世代の医療に役立ちます**

—生命科学や医療の進歩にとって優れた研究や開発が不可欠です—

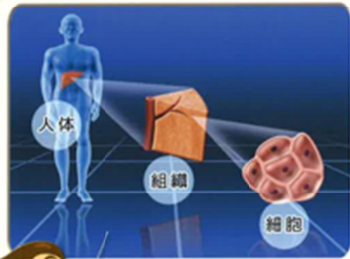
独立行政法人 医薬基盤研究所は、みなさまの受ける医療がもっとよいものになることを願っています。  
 その一助として人の組織が適切な手続きのもとに公正に利用できるように「ヒト組織バンク」を運営  
 しています。いま、あなたのご提供が医療を大きく変えようとしています。



生命科学や医療の進歩、優れた薬の開発などには人の組織を用いる研究が不可欠です。このよ  
 うな時代を迎えるため、すでに数多くはヒト組織バンクがいくつか運営されています。わが国でも人  
 の組織が研究開発のために公正に利用できることを目的として、独立行政法人 医薬基盤研究所がヒト  
 組織バンクを運営しています。ヒト組織バンクは国内の医療機関から提供された人の組織を保管し、  
 大学や国立および企業の研究者に提供する役割を担っています。

-1-


**提供をお願いする組織は？**



手術で摘出された  
 組織は検査に用いら  
 れ、残った部分は医  
 療廃棄物として処分  
 されます。そのよう  
 に今まで活用されて  
 いなかった部分をご  
 提供いただければ、  
 多くの研究の為に  
 役立てることができ  
 ます。

ヒト組織バンクでは、この廃棄される組織  
 のご提供をみなさまにお願いしています。

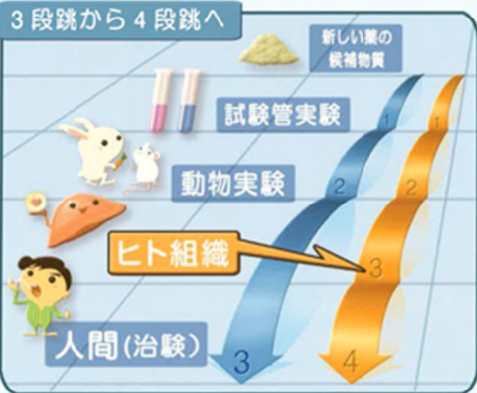
**ご提供いただく組織は明日の医療に役立ちます**



人の体の働きを知るためには、  
 人の組織を調べることがとても重  
 要です。病気の原因は何か？薬が  
 効くかどうか？副作用が起こらな  
 いか？などを調べることで、これ  
 からの医療における病気の診断や  
 予防、治療に役立ちます。実際、  
 地道な研究が実を結び、抗がん剤  
 などが開発されています。

-2-

**例えば新しい薬の開発の場で**



3段跳から4段跳へ

新しい薬の  
 候補物質

試験管実験

動物実験

ヒト組織

人間(治験)

ヒト組織を使わない場合(3段跳)

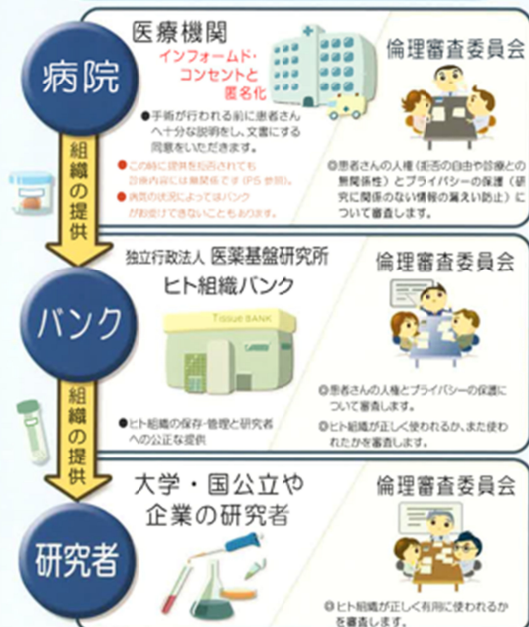
薬の効き方や安全性を確かめるための試験は今まで動物を使った実験  
 をずませてから人間に投与して臨床試験を行ってきました。そのため  
 人への有効性や予想外の副作用が十分に確かめられないうちに臨床試験が  
 行われることもあります。

ヒト組織を使う場合(4段跳)

ヒト組織を用いた試験を行うことにより、人への有効性や安全性の予測が  
 3段跳よりも確実になる上に、実験に使う動物の数を少なくすることが  
 できます。また、薬の効き方は、人種によってお薬に対する強さが違うようにそれ  
 ぞれ異なりますので、日本人に適した薬を作ったり、使う量を知るには、日本  
 人の協力がぜひとも必要なのです。

-3-

## ご提供いただいた「ヒト組織」は適切に扱われます



※倫理審査委員会の役割は国によって定められたもので、人の組織や人体そのものを対象とする研究を行う場合に設置されています。研究計画の倫理的・科学的な妥当性を審査し、助言を与えたり、正しく研究が行われるようにする委員会です。委員は研究者だけでなく、一般市民の立場の人も含むことになっています。

## 提供と診療内容は無関係です

提供に同意するか、しないかによって診療内容が変わることはありません。



## 提供者の受ける利益は？



直接的な利益はありません。ご提供いただいたヒト組織は、医療の発展をめざした研究に活かされ、日本人はもとより人類全体の利益となることが期待されています。

## プライバシーを厳重に守るよう工夫されています

個人のお名前は2段階で匿名化され、ご提供いただいた組織と個人情報とは結びつかなくなります。



## 厚生労働省

### 独立行政法人 医薬基盤研究所

〒567-0085 大阪府茨木市彩都あさぎ7-6-8  
TEL 072-641-9811 FAX 072-641-9812  
HP <http://www.nibio.go.jp/>

- (独)医薬基盤研究所は、医薬品・医療機器の開発に資する基盤技術の研究し、研究開発を推進することを通じて、革新的医薬品などの創出に貢献し、国民保健の向上に資することを目的とし、平成17年4月に設立されました。
- 本研究所は創業支援を行う独立行政法人として、医薬品などの基盤的技術研究、難病、疾患資源研究、医薬品などの研究開発基盤の三事業を行い、民間企業、大学などにおける新たな医薬品・医療機器の開発を目的とした研究開発を支援しています。

### JCRB生物資源バンク

HP <http://bioresource.nibio.go.jp/>

JCRB生物資源バンクは、国内外の研究機関から預かった貴重な研究資源を保存しています。約1,200種類の動物細胞株と約15,000種類の遺伝子を保存し、年間約9,000サンプルを国内外の研究者に提供し、世界有数の研究資源バンクです。ヒト組織を扱うヒト組織バンクは当バンクの一部門です。すでに約200種以上が集まり、外部の研究者に利用していただいております。

ヒト組織バンク  
TEL/FAX 072-641-9016

- お問い合わせは上記ヒト組織バンクまで

2013年5月作成

編集 医薬基盤研究所  
独立行政法人  
医薬基盤研究所  
創薬・疾患資源研究部  
難病資源研究部

絵野矢 伸  
独立行政法人  
医薬基盤研究所(センター)

作成 ITのデザイン



独立行政法人 医薬基盤研究所  
**JCRB 生物資源バンクホームページ**  
Japanese Collection of Research Bioresources



独立行政法人 医薬基盤研究所  
難病・疾患資源研究部

培養資源研究室  
難病資源研究室  
疾患モデル小動物研究室



医薬品・医療機器の開発には、細胞、遺伝子、実験動物などの生物資源が欠かせません。独立行政法人医薬基盤研究所は、研究現場で必要とされる生物資源を開発するとともに、様々な生物資源を収集・保全し、研究現場へ安定的に供給するための研究を行っています。

**ヒューマンサイエンス研究資源バンク業務移管のお知らせ**

独立行政法人医薬基盤研究所は、財団法人ヒューマンサイエンス振興財団 [ヒューマンサイエンス研究資源バンク](#)と連携して研究資源を皆様に供給して参りました。この度、平成25年4月1日より、研究資源の効率的な利用を促進するため、ヒューマンサイエンス研究資源バンクの業務全体(細胞、ヒト組織、日本人由来B細胞株・DNA、遺伝子クローン)を独立行政法人医薬基盤研究所へ移管することになりました(実験動物のバンク業務は平成24年度に移管済み)。利用者の皆様にご迷惑をおかけすることがないように努めてまいります。どうぞ今後ともバンク事業への変わらぬご愛顧をよろしくお願い申し上げます。

JCRB生物資源バンクでは、5つの生物資源バンクが3つの研究室によって運営されています。

細胞	ヒト組織	日本人由来B細胞株・DNA	遺伝子クローン	実験動物
<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 細胞検索</li> <li>▶ 細胞情報</li> <li>▶ 受託業務</li> <li>▶ 培養細胞寄託案内</li> <li>▶ 細胞バンクについて</li> <li>▶ その他(お問い合わせ)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ ご利用の手引き</li> <li>▶ 資源リスト</li> <li>▶ 分譲関係様式</li> <li>▶ 運営細則</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ ご利用の手引き</li> <li>▶ 分譲サンプルの性状</li> <li>▶ 試料一覧</li> <li>▶ 分譲依頼書・同意書</li> <li>▶ 分譲手数料</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ ご利用の手引き</li> <li>▶ 遺伝子クローンリスト</li> <li>▶ 分譲依頼書・同意書</li> <li>▶ 分譲手数料</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 資源リスト</li> <li>▶ マウス分譲</li> <li>▶ 保護預かりサービス</li> <li>▶ マウスの寄託</li> <li>▶ 価格表</li> </ul>

▶▶ [培養資源研究室](#) — 細胞

私たちは、ヒト細胞(脳、肺、肝、腎、胃、血液など各種臓器由来)を主に収集し、各種検査を実施して、高品質な細胞を安定的に研究者へ提供しています。ヒト組織に由来する細胞は、貴重な研究資源として医薬品開発・再生医療研究など、広範囲で利用されています。さらに関連情報の積極的な発信、細胞セーフデポジットやマイコプラズマ汚染検査など研究者をサポートするサービスを提供しています。

▶▶ [難病資源研究室](#) — ヒト組織、日本人由来B細胞株・DNA、遺伝子クローン

私たちは平成25年4月よりヒューマンサイエンス研究資源バンクから移管されたヒト組織(凍結組織、固定組織、冷蔵(新鮮)組織など)を収集・分譲するとともに、約2,000名の日本人由来のB細胞株・ゲノムDNA、ヒトやチンパンジー、カニクイザルなどの遺伝子クローンを研究者に分譲します。また、私たちは難病資源の収集・分譲を行う [難病研究資源バンク](#)の運営も行っています。

▶▶ [疾患モデル小動物研究室](#) — 実験動物

私たちは有用なヒト疾患モデルマウス(先天代謝異常症、先天性腎疾患、心疾患など)を収集し、研究者へ提供しています。さらに関連情報の積極的な発信、マウス凍結胚・凍結精子による保護預かりサービスなど、実験動物を利用する研究者をサポートします。また、マウス飼育方法、繁殖方法などお困りの場合は、お気軽にご連絡ください。

メールなどでのお問い合わせの際に提供される個人情報、独立行政法人医薬基盤研究所個人情報管理規程に基づき厳正に管理されます。

独立行政法人 医薬基盤研究所  
Copyright © 2005-2014 National Institute of Biomedical Innovation. All Rights Reserved.

## 資料4 独立行政法人医薬基盤研究所データベース横断検索 (http://alldbs.nibio.go.jp)



### データベース横断検索

独立行政法人医薬基盤研究所で公開している12のデータベースを横断的に検索することができます。

下の検索ボックスにキーワードを入れて、検索ボタンを押してください。[使い方]

### このサイトについて

このサイトでは、独立行政法人医薬基盤研究所が保有している下記のデータベースをまとめて検索することができます。

1. 細胞バンク  
高品質なヒト等の細胞を安定的に提供
2. 遺伝子バンク  
ヒトやカニクイザル等のcDNAと多型情報
3. 実験動物研究資源バンク  
ヒト疾患モデルマウスの収集と提供
4. メディカル・バイオリソース・データベース  
ヒト由来試料と疾患モデル動物の所在情報
5. 薬用植物データベース  
薬用植物約100種の生薬・処方等の情報
6. GeMDBJ  
ヒト5疾患のSNP Genome Scan情報
7. Open TG-GATEs  
化合物暴露の毒性情報と発現プロファイル
8. TargetMine  
創薬支援の統合データウェアハウス
9. 難病研究資源バンク  
希少難病患者の生体試料の収集と分譲
10. 希少疾病用医薬品・希少疾病用医療機器  
基盤研が開発をサポートする医薬品・医療機器の情報
11. ヒト組織バンク  
ヒトの凍結組織、固定組織、冷蔵(新鮮)組織を分譲
12. 日本人由来B細胞株・DNAバンク  
日本人由来のB細胞株と、同細胞株から抽出されたDNAを分譲

このサイトは厚生労働省科学研究費補助金創薬基盤推進研究事業「創薬支援のためのバイオリソースデータベースのネットワーク整備と政策・倫理課題に関する研究」により運営されています。

### 新着情報

- 2014/3/19「ヒト組織バンク」と「日本人由来B細胞株・DNAバンク」を追加しました。
- 2012/12/25「難病研究資源バンク」と「希少疾病用医薬品・希少疾病用医療機器」を追加しました。
- 2011/4/15 医薬基盤研究所横断検索システムを公開しました。

### リンク

- 医薬基盤研究所
- 総合科学技術会議HP

データベース統計情報(2014年5月2日現在)

データベース	データ統計
細胞バンク	1237(細胞数)
遺伝子バンク	179750(データ数)
実験動物研究資源バンク	122(系統数)
メディカル・バイオリソース・データベース	310(データ数)
薬用植物データベース	190(植物種数)
GeMDBJ	21209(データ数)
Open TG-GATEs	170(化合物データ数) 123(病理データ数)
TargetMine	15データベース
難病研究資源バンク	63(データ数)
希少疾病用医薬品・希少疾病用医療機器	351(データ数)
ヒト組織バンク	233(データ数)
日本人由来B細胞株・DNAバンク	5(データ数)

### お問い合わせ

独立行政法人 医薬基盤研究所  
難病・疾患資源研究部 政策・倫理研究室  
✉ [mbrdb@nibio.go.jp](mailto:mbrdb@nibio.go.jp)  
〒567-0085 大阪府茨木市彩都あさぎ7-6-8  
TEL:072-641-9899 FAX:072-641-9829